

愛する犬が愛される一生を送るために

岐阜市立藍川中学校 3年

神村 歩花(かみむら ほのか)

ある休日。私はペットショップにいた。

犬が大好きな私。そこにはたくさんの動物たちがいる。多種多様なかわいい犬を見ている時、違和感を抱いた。よく見ると、ある犬の足に何かがついている。

ケージの中を見ても、そこには、用を足すための、トイレシートが置いてある。そのトイレシートの上で用を足すことで、汚れを防ぐのだが、そのトイレシートの上を何度も踏んづけたらしいその足には、汚れがついている。そのケージ内には、3匹の犬がいるが、明らかに相性が悪い。片方が求愛行為を繰り返すためか、ストレスを抱えているように見える。なぜ、こんな環境で生活をしているのか、疑問に思い、ケージの上に視線を上げた時、目に飛び込んできたのは、「激安!!」というこの貼り紙。そう。保護犬や年をとった犬は安いのである。

保護犬とは、様々な事情で保護された犬のことです。例えば、悪質なブリーダーが、劣悪な環境の中で無理やり繁殖を行い、子どもを産みすぎて妊娠ができなくなってしまった犬。例えば、人間との関係の中で、何かしらのトラウマを抱え、うまく人になつくことができなくなってしまった犬。育ってきた環境から逃げてきた犬。飼い主に捨てられてしまった犬。このように事情は様々でも、保護犬となってしまった犬の最後がこの「激安」であり、それでも買い手がつかない場合は、殺処分になることに、心が痛む。

私はミニチュアダックスフンドを飼っているが、自分なりにかわいがっていると思う。例えば、散歩に連れていっている。その時にトイレの世話、外出した際は必ず行うようにしている。また、ご飯をあげるようにしている。病気になれば、病院に連れて行くし、毛が伸びてくればトリマーに連れていく。私にとって、ペットを飼うということは、世話をするということであり、それは当たり前のことである。多くの人にとってもそうだと思う。

ただ、先ほどの悪質なブリーダーのように犬で金もうけをしようとする、当たり前ではなくなってしまう。その被害者になってくるのが、私たちの心を潤してくれる犬自身であるというのに、私は耐えがたい。

では、私たちにできることは何だろうか？

それは伝えることではないかと考えた。私のクラスメイトで、実際に保護犬を飼っている仲間がいる。「なぜペットショップで購入せず、あえて保護犬を飼っているのか」と聞くと、「命を亡くすくらいなら、自分が飼いたい」と考えたからだと教えてくれた。とても驚いたのは、その犬との出会い方である。どうやって保護犬と出会ったかという、岐阜県のホームページで保護犬を紹介しており、そこから情報を得て、飼い主になることを決めたのだという。また、希望した場合、手数料として岐阜県収入証紙を支払うことで、その代金をペットの餌代にしているのだという。私は、実際に行動に移している仲間が身近にいることに衝撃を受けた。また岐阜県がすでに保護犬のためにこうやって動いていることを初めて知った。

きっと私のように思いがあっても、こういった情報を知らない人がたくさんいると思う。だから私は伝えたい。保護犬の現状と助ける方法を。